

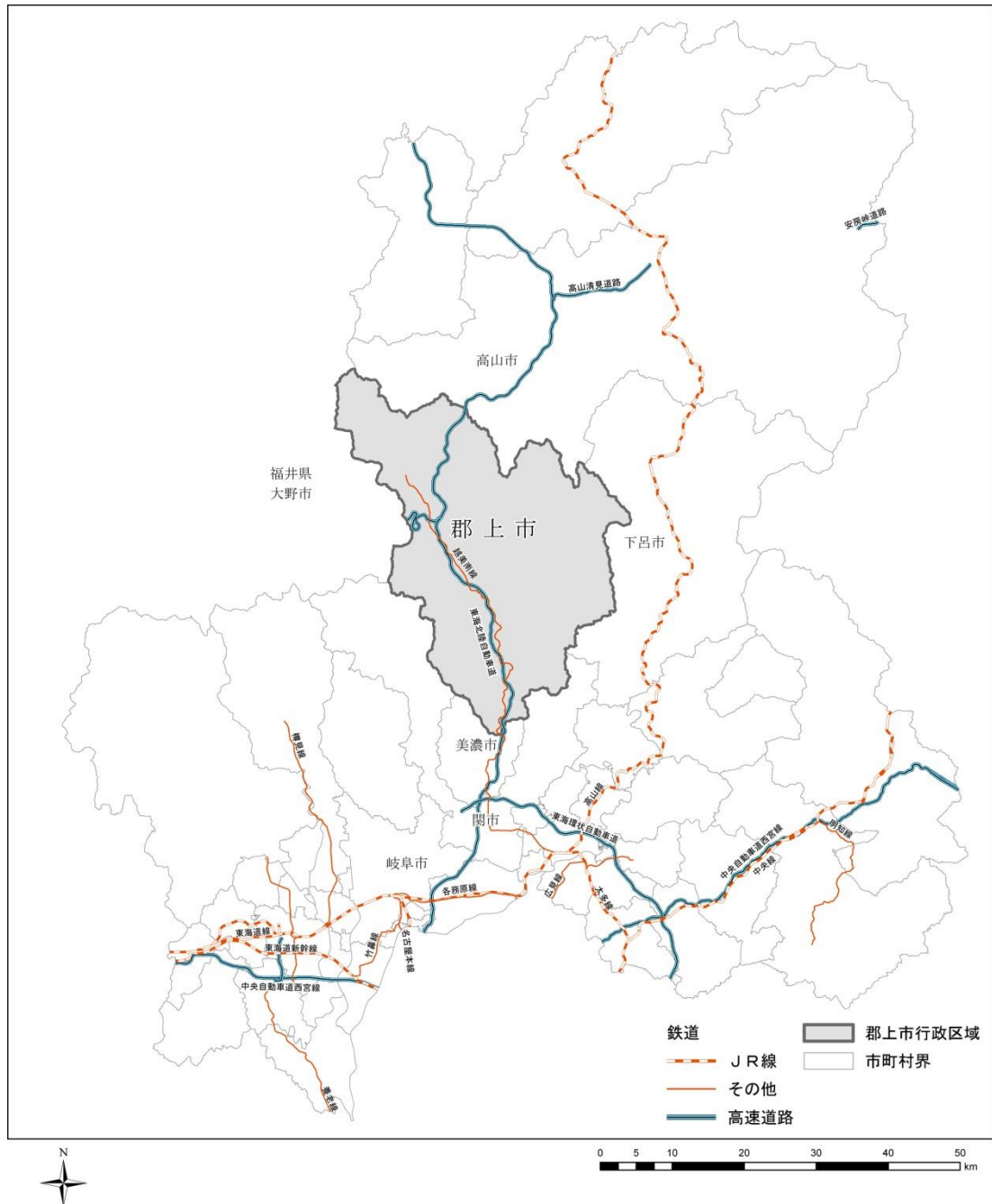
II. 郡上市の概要整理

1. 位置・規模

本市は、岐阜県のほぼ中央部に位置し、東に下呂市、北に高山市、南及び西に美濃市、関市、福井県大野市に接しています。

市域面積は1,030.75km²（平成26年10月1日時点 国土地理院調査）で、岐阜県内では高山市に次いで大きく、県全体の約10%を占めています。

図Ⅱ-1 郡上市の位置

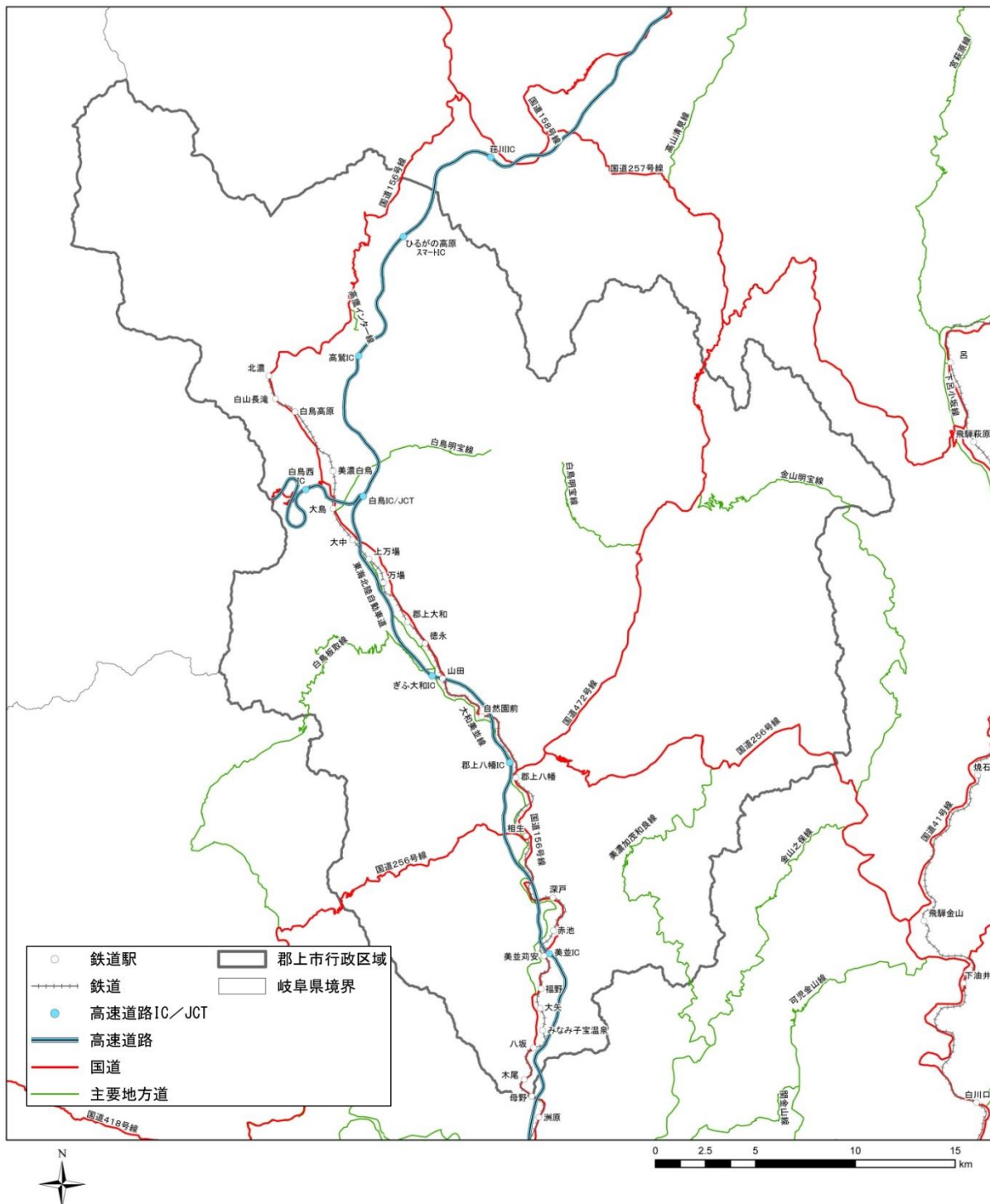


2. 交通状況

幹線道路網としては、東海北陸自動車道が南北に縦貫し、白鳥 JCT で接続される中部縦貫自動車道油坂峠道路が福井県方面と結んでいます。また、国道 156 号が東海北陸自動車道と並行して通っているほか、国道 256 号、472 号等が東西方向の骨格を形成しています。

鉄道は、長良川鉄道越美南線が、北濃駅と美濃加茂市の美濃太田駅を結んでおり、市内に 23 駅が設置されています。

図 II-2 主要交通網



3. 沿革

本市のもととなった旧郡上郡は、明治 12 年(1879 年)に郡治分割が施かれた際に成立し、郡上郡役所が八幡町に設置されました。当初は 11 町 88 ヶ村に分かれていましたが、明治 21 年(1888 年)に町村制が施行され、郡上郡は 1 町 16 ヶ村となりました。

その後、昭和 29 年(1954 年)に町村合併促進法が施行され、郡上郡は八幡町・大和町(昭和 60 年町制)・白鳥町・高鷲村・美並村・明方村(平成 4 年度明宝村)・和良村となりました。また、昭和 33 年には、福井県の石徹白村が白鳥町と越県合併をしました。そして、この 7 ヶ町村が、平成 16 年(2004)3 月 1 日に合併し郡上市が誕生しました。



出典：郡上市ホームページ

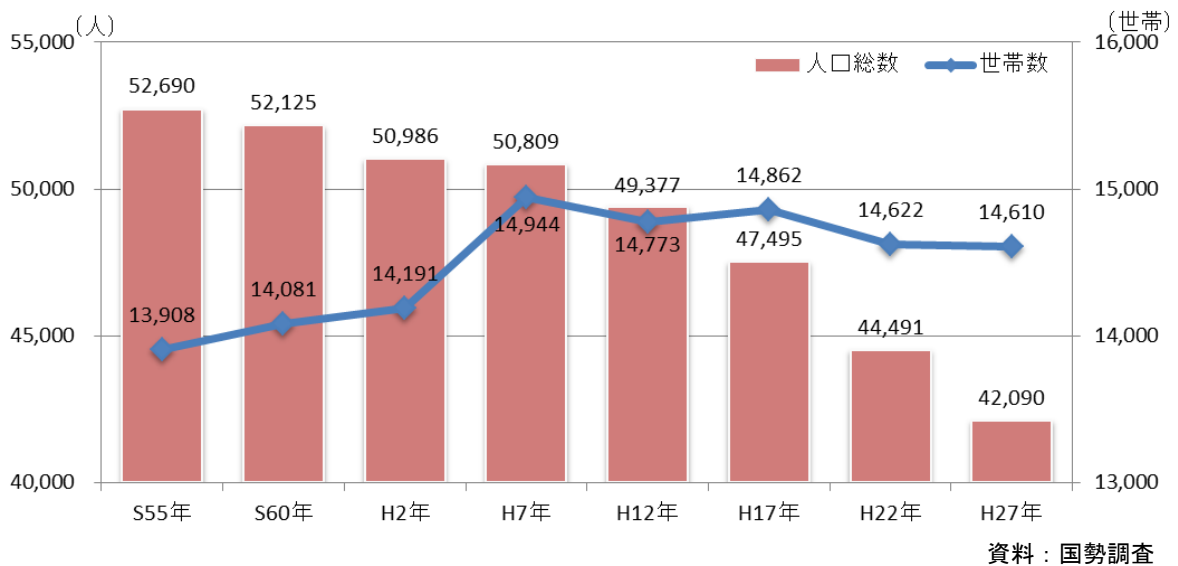
4. 人口動態

(1) 市域全体の状況

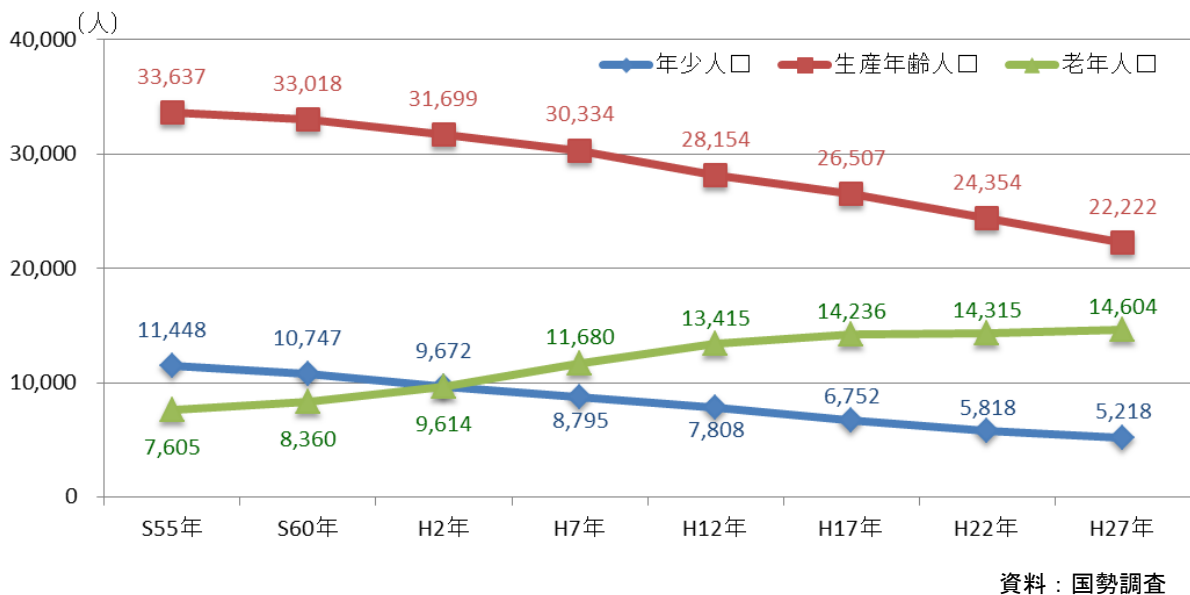
平成 27 年国勢調査による本市の人口は 42,090 人、世帯数は 14,610 世帯となっており、昭和 55 年以降の推移として、人口は一貫して減少し、世帯数も平成 7 年の 14,944 世帯をピークに減少傾向にあります。

年齢 3 区分別の人口は、平成 27 年において年少人口（0～14 歳）が 5,218 人、生産年齢人口（15～64 歳）が 22,222 人、老年人口（65 歳以上）が 14,604 人で、構成比としては年少人口が 12.4%、生産年齢人口が 52.9%、老年人口が 34.7%となっています。また、推移として年少人口、生産年齢人口が減少する一方、老年人口が増加しており、少子高齢化が進行しています。

図Ⅱ-3 人口・世帯数の推移(市域)



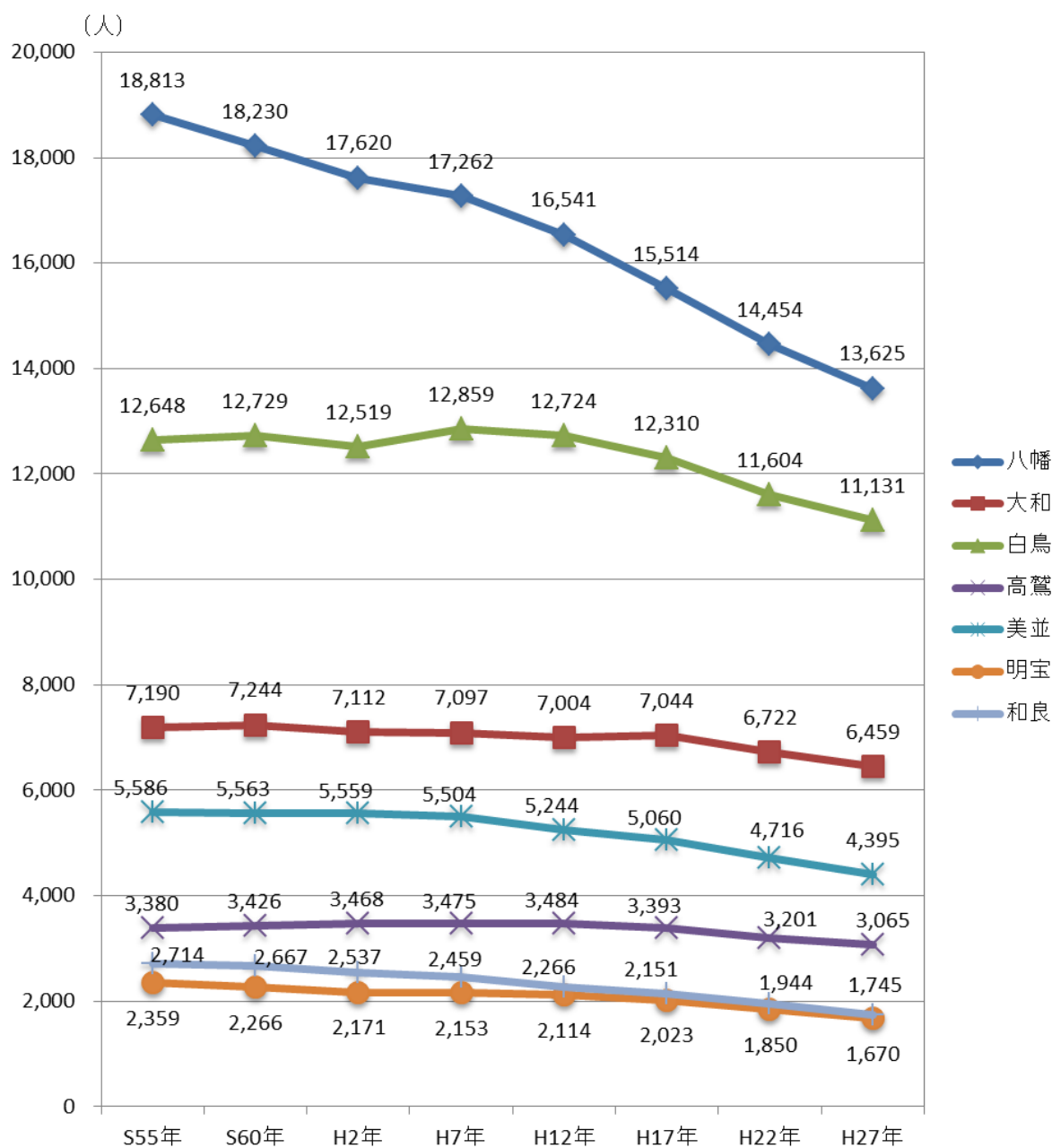
図Ⅱ-4 年齢3区分別人口の推移(市域)



(2) 地域（旧町村）別人口の状況

旧町村単位で地域別の人口の状況を見ると、平成 27 年における総人口に占める割合では、八幡地域が 32.4%とおよそ 3 分の 1 を占め、次いで白鳥地域が 26.4%などとなっています。昭和 55 年以降の人口の推移としては、いずれの地域も減少していますが、昭和 55 年と平成 27 年の減少率では、全市平均が 20.1%であるのに対し、和良地域が 35.7%、明宝地域が 29.2%、八幡地域が 27.6%と大幅に減少している一方、高鷲地域は 9.3%、大和地域は 10.2%、白鳥地域は 12.0%と比較的減少が緩やかとなっています。なお、美並地域は全市平均と同程度の 21.3%の減少となっています。

図 II-5 地域別の人口推移

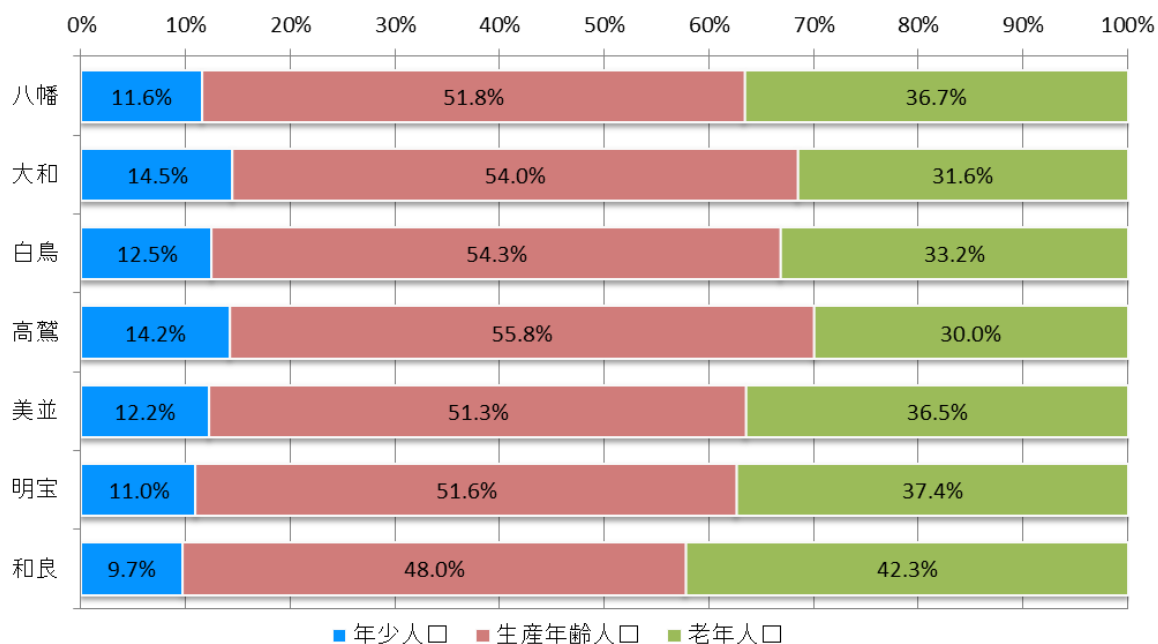


資料：国勢調査

平成 27 年国勢調査より地域別に年齢 3 区分別人口の構成比率を比較すると、老年人口の比率では和良地域が 42.3%で最も高く、次いで明宝地域が 37.4%、八幡地域が 36.7%となっています。また、年少人口の比率では和良地域が 9.7%で最も低く、明宝地域も 11.0%と低くなっています。

和良地域、明宝地域、八幡地域は人口減少率も高く、これら人口減少の著しい地域ほど少子高齢化が進んでいる状況がつかえます。

図 II-6 地域別の年齢3区分別人口割合



資料：平成 27 年国勢調査

注：小数点以下の処理の関係で合計が 100%にならない場合があります。